

県共闘会議

第39回定期総会

(前頁よりつづき)

祝辞として、北山芳宏・県企画部人権局長から仁坂吉伸・県知事のメッセージ、市の山本彰徳・市民環境局長から尾花正啓・市長からのメッセージが披露された。田上武・部落解放・人権行政確立要求和歌山県実行委員会会長から「人あつて運動をすすめてきた。今大会を成功裡に終え、今まで以上のご協力をお願いしたい」と激励のあいさつがあった。つづいて、野口宗宏・事務局長(県職労)が13年度活動報告ならびに14年度活動方針案、宮本修



すべての差別撤廃を団結ガンバローで誓いあった



福島隆志・常任執行委員

作・事務局次長(解放同盟)が決算報告・予算案を、阪本嘉一・会計監査(日教組和歌山)が会計監査報告をおこない、議長よりスローガンが提案され、全員の拍手で採択された。新役員が総会運営委員長より報告され、杉谷雅史議長があいさつをおこなった。柳雄介さん(自治労)が「すべての人権確立を基本に、平和と

豊かな社会を実現させるために奮闘する」と総会宣言を提案した。

特別報告として、福島隆志・解放同盟常任執行委員より「Y住宅販売会社差別事件について」、中央本部

青年対策部会議

9月19日、同和企業センターでひらき松井資喜・青年部長、速水雅樹青・年対策部長、対策部員10人が参加した。

討議の内容については、DV・デートDV・ストーカー被害についての学習会の日程、参加者の集約をおこなった。また、狭山市民集会の行動隊について討議され、速水・青年対策部長、松井・青年部長、小嶋・事務局次長、久保・事務局次長

を中心とした糾弾会のとおりくみ報告がされ、池田清郎・新副議長(解放同盟)の閉会あいさつと阪上貴史・新事務局長の力強い団結ガンバローで閉会した。

が参加することを確認した。

さらに、対和歌山県交渉の青年部要求については、青年の雇用・住宅問題を中心に話し合いをおこなった。そのなかで、特に正規雇用されていない青年を集めて、青年対策部員と話し合いをする場が必要ではないかと討議された。最後に、狭山現地調査については、11月23日(開催することが確認された。

第2回近畿・東海・北陸ブロック青年交流学習会反省会

第2回「近畿・東海・北陸ブロック青年交流学習会」反省会が神戸市の兵庫人権会館でおこなわれ、和歌山県連青年部から、松井・青年部長、久保事務局が参加した。会議では、各府県連から交流学習会のよかった点や悪かった点について議論がおこなわれた。よかった点については、1日目のグループ討議の進行がよかったのでスムーズにいったところやグループ討議が男女に別れていたのが女性としては話しやすかつ

たという点などの状況であった。また、悪かった点については、2日目のフィールドワークの人数が多すぎて説明が聞こえにくかったところや懇親会の席が最初から決められていたのがテーブルから離れにくい状況であったことなど、報告された。最後に、2年後に開催される第3回近畿・東海・北陸ブロック青年交流学習会を近畿地方以外のところで開催したらどうかと議論され、青年交流学習会反省会が終了した。

未然に防ごう

青年部・女性部合同学習会

台風18号の影響が心配される10月5日、青年部と女性部の合同の学習会が同和企業センターでおこなわれ74人が参加した。これは第59回県連大会の分散会で、インターネットやスマートフォンを利用する人が増えるなか、DVやデートDV、ストーカー被害、リベンジポルノなど多様化する犯罪を未然に防ごうと

学習会をしてほしいとの意見をうけて実現した。講師に、伊田広行・立命館大学、神戸大学非常勤講師・「ユニオンぼちぼち」副委員長を迎え、「DVとデートDVについて」―DVとデートDVについての基礎知識と事例・指導法の学習をした。女性部は何度がDVやデートDVの学習会をしているが、青年部



代表してあいさつした松井資喜・青年部長

は初めて。デートDVやDVについて有名人の事例や具体的な事例をあげ、被害者になった場合、加害者になった場合、相談の乗り方など、初めて聞く青年たちにもわかりやすく説明された。

次に和歌山県の状況について、男女共同参画センターより説明があった。和歌山県でもDVを訴える人が増加しており、男性からの相談も増えてきている。また、性暴力救済センターわかやまmineが県立医科大学に開設されていることについて説明があった。最後に司会をした山本昌代・女性対策部長は、DVを目撃した子どもは記憶に残っており、なんらかの影響がでる。このような学習会をとおして、暴力だけでなくさまざまなDVがあることに気づき、それは愛情ではないことに気づかなければならないと締めくくった。



DVについてくわしく語られた伊田広行さん



わかやまmineについてりいぶる奥田美和子さん